

図書館報 みずもと

第19号
2004年9月

—— 目次 ——

- 難しい本をどう読むか
- 電子ジャーナル利用のすすめ
- 新しく始まった図書館サービス
- 電子ジャーナルをOPACで検索!
- 図書館HomePageがリニューアル
- ホームページからの貴重図書を紹介
- 新着図書紹介
- 図書館統計

難しい本をどう読むか

共通講座 二宮 公太郎

私は哲学を担当しています。学生諸君には大いに哲学に関する書物を読んでもらいたいのですが、難しいので敬遠されがちです。そこで、哲学を含めて、難しい本をどう読むか、難しい論文を理解するにはどう読んだらよいか、いわゆる「精読」の仕方とはどのようなものなのか、という話をします。話は、30ページ前後の論文、或いは一冊の本なら一つの節なり章なりを念頭においています。文科系の大抵の学問には通じることだと、私は思っています。

目標は、「分かった」という実感をもつことです。そのために 三回、読みます。三段階で読む、と言ったほうが良いかも知れません。

一回目は、通読の段階です。

まず、理解はできなくても、最初から最後まで読みます。小説を読むような感じでよいでしょう。

もっとも、「理解ができない」というのは、脈絡を把握することができないという意味です。だから、この段階でも最低限わかっているなければならないことは在ります。出てくる単語の意味は理解できていなければなりません。時々辞書を引く必要も在ります。また一つひとつの文についても、どれが主語で、この動詞の目的語はこれだ、等々といった文法的な構造は、もちろん理解されていなければなりません。

二回目は、ポイントを把握する段階です。

じっくりと読みます。この段階は、「分かった」という実感をもつために、最も重要な過程です。関係の在りそうな箇所は関係付けて読みます。先の方と後の方を比較したりする場合も出てきます。分かりにくいところは、分かるまで何度も読みます。

こうして、思考の流れの筋をつかむと同時に、最も要(カナメ)となるポイントをつかみます。ポイントがつかめるまでは、やめてはいけません。何度も繰り返し読みます。何度も読むこの過程の全体が、「二回目」の段階です。

「そうか」と、突然ひらめくときが在ります。そうすると、一気に分かり始めます。このときが一番楽しい瞬間で、本を読む甲斐も醍醐味もこの瞬間に在ると言ってもよいでしょう。「これだ」というものをつかんだら、直ちに三回目の段階に入ります。

三回目は、再構成の段階です。

ポイントは既に把握されています。こんどは、個々の箇所がこのポイントにとってどのような位置付けになっているか、を考えながら読みます。ポイントに照らして、全体を再構成しながら読みます。骨に肉を付けるように、と言ってもよいでしょう。

これがうまくできることによって、先のポイント

把握の正しかったことが実証されます。うまくできなければ(当の理解では或る箇所がうまく全体の中に位置付かないといった場合には)、先のポイント把握が誤っていたということになります。その場合には二回目の段階へ戻らざるを得ません。

以上の三段階をフローチャートの形で右に示します。

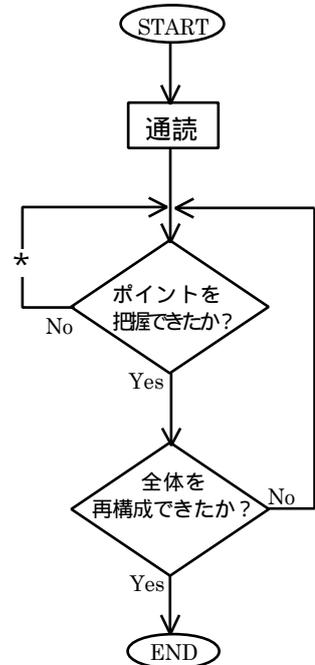
「挫折」は、大抵の場合、「二回目」の段階、「繰り返し」の過程のなか(フローチャート*印の箇所)で起こります。いつまでもポイントがつかめなければ、諦めるしかないでしょう。

これは決断の問題です。挫折の原因は、おそらく予備知識が足りないことです。いろいろな参考書を読んで視野を広げるのがよいでしょう。

一冊の本を読む場合、前提として一つの作業が必要です。まず、目次を見て、どの辺りが重要で、どの辺りがそのための準備なのか、等について当たりを付けます。目次だけで分からなければ、その章・節を斜め読みして、ぼやっとでも内容を捉えます。こうして、その本全体がどのような構成でできているかを把握します。「はしがき」や緒論にそれが書かれていることが在りますが、これは決して見逃さず、しっかり読みます。これだけの作業をしてから、重要だと思われる章あるいは節について、上のこと「三回読む」を行ないます。

一冊の本を読む際、授業の教科書や研究のテキストといった場合を別にすれば、その本の隅から隅まで理解する必要は在りません。一つの章なり一つの節なりから何か「ハッ」とすることが得られれば、その読書は大成功です。

一般に、難しいことに挑戦することは大事なことです。挑戦しようとする気持ちが起こるとき、十分に時間を掛ければそれを成就する能力も、大抵は既に備わっています。自分を信じて、ともかくやってみよう!



電子ジャーナル利用のすすめ

応用化学科 空閑 良壽

学生の皆さんはもうご存知でしょうか。本学では2年前の平成14年度から、文部科学省の予算や、学長裁量経費（学長先生の裁量で予算が必要と判断された課題に導入する経費）を用いて電子ジャーナルの導入がはじまり、今年度からは、全学的な総意のもとに予算を組んで、本格的に電子ジャーナルサービスの運用が始まっています。私も電子ジャーナルワーキンググループの一員としてその導入、拡大にかかわってきた経緯があります。

さて皆さんは、4年生になると卒業研究を行ないます。その成果は、学科内の卒業研究発表会で世の中に公表されることとなります。さらにその一部は、各種の学会で発表されたり、我々教員も手伝って研究論文として様々な種類の雑誌（ジャーナル）として世界中に発信されることとなります。世界中というところがちょっと大きな感じがしますが、本当に世界中なのです。これには、電子ジャーナルの発展、発達も大いに関係しています。

皆さんは学内や自分のパソコンを使ってインターネットのGoogleやYahooなどの検索で、keywordを入れて必要な情報を、世界中のデータベースの中から手に入れたことがあるでしょう。実験や講義のレポートの課題を調べるのに使われた経験もあると思います。本学の図書館を窓口として導入された電子ジャーナルサービスを用いれば、より専門的な科学技術論文や、経済や文系の論文、専門書の広い範囲で、これと同じようなことが可能となっているのです。皆さんの卒業、修士、博士の研究成果も論文発表の形を経て、電子ジャーナルを通して、世界中の多くの学生さんや研究技術者に発信されていくこととなります。

まずは、皆さんにはこの電子ジャーナルサービスを、普段の学習や、自分の卒業研究などにどんどん利用するように、慣れ親しんで、その利便性をインターネットのGoogleやYahooなどの検索と同じように利用して欲しいのです。一般的な電子ジャーナルの特徴は、冊子体に比べて、利便性（図書館や学内のパソコン、研究室等のパソコンから雑誌論文を読むことができる）、速報性（印刷・輸送の時間が節約でき、さらに印刷前の雑誌に掲載予定の論文も読める）、確実性（郵便事故等で欠号の生じることがなくなる）などです。さらに加えて、もっと、もっと便利なことは、今年度から導入したElsevier社のScienceDirectのフリーダムコレクションでは、全雑誌（約2000種類=2000タイトルの主に理工学系の英文の雑誌）の最近6～7年分の全論文（全文）とほぼ全巻のアブストラクトを閲覧、ダウンロードできます。2000種類の雑誌です。

想像がつかますか？ ScienceDirect以外にも、主に数学・化学・ライフサイエンス系の雑誌を提供するSpringer-Verlag社のSpringerLinkでは約500タイトル、理工学系だけでなく人文・社会科学の雑誌も提供するKluwer社のKluwerOnlineでは約650タイトル、電気電子・情報工学分野における世界最大の学会であるIEEEの提供するIEEE ASPP onlineでは約120タイトル、アメリカ土木学会（ASCE）は30タイトル、アメリカ機械学会（ASME）は19タイトル、そのほかにScience、Nature、PNASなど主要な科学雑誌も利用できます。

だけど、なんだ英文だけか？ ちょっと使いにくいなという学生さんもいるかも知れません。ご安心ください、日本語の雑誌もずいぶんたくさん電子ジャーナル化され、本学でも利用可能です。国立情報学研究所が提供するNACSIS-ELSでは、約370タイトルの国内の学協会誌を利用することができます。ただし、ここまで世界のグローバル化が進んで、世界中の情報が英語で手に入るわけですから、英語が苦手な私が進めるのもへんですが、英語の勉強も頑張ってください。社会に出ても不可欠ですよ。

これらの利用可能な雑誌数、すごい数ですね。一昔前ならどれだけ大きい図書館が必要なのでしょう。ちょっと大げさに言えば、皆さんははながらにして、国会図書館（あるいはそれ以上？）規模の図書館を利用できる立場にあることになるかも知れません。もちろん、これらの雑誌すべてに目を通すことは不可能です。そこで、これには例えば、興味あるkeywordを用いた検索が不可欠となります。繰り返しになりますが私は、電子ジャーナルのもっとも便利な点は、このkeyword検索が、GoogleやYahooの検索の感覚でできる点だと思います。さらには、登録しておいたkeywordを含む論文が公表されると自動的に知らせてくれるアラート機能もあります。

まだ、電子ジャーナルの便利さを体験していない学生さんたちは、ぜひ今日にも図書館や学内のネットにつながっているパソコンで試してみてください（URL=http://mitlib.muroran-it.ac.jp/ej_db.html）。

このように紹介してきた電子ジャーナルの検索機能を利用して、いろいろな調べもの、学習に電子ジャーナルをどんどん利用してください。せっかく高い予算をつけて導入した便利なサービスです。学生さんには、くれぐれも宝の持ち腐れにならないように利用して欲しいし、教職員の皆さんも大いに学生さんに宣伝していただいて、ご自分も含めて利用していただければと思います。

ポスト返却サービスの実施

本館では、利用者への貸出返却サービスを向上するため、本年4月より、夜間及び休館日などの閉館時に図書等の返却を行えるよう、返却ポストを設置しました。

設置場所は、正面玄関（講義棟側）の右側付近です。

開館時間帯に来館できない場合、どうぞご利用ください。

なお、ポスト返却による返却日は、返却を行った日より前の開館日となります。

（例：土曜日・日曜日が休館で、日曜に返却した場合、返却日は前の金曜日になる）



文献複写及び相互貸借のホームページ受付

本館では、本年8月9日より、図書館間の相互協力サービスの向上を図るため、他大学等へ依頼する文献複写及び相互貸借（借用）の申込みをホームページから行えるようにしました。

申込をされる方は、図書館ホームページ / 「オンラインリクエスト」 / 「ILL(文献複写・資料借用)申込」から入ると右図の「ILL(文献複写/資料借用)申込書」の入力画面が出来ますから、必要データを入力して送信してください。

禁帯出図書の夜間貸出

本館では、本年4月より、貸出サービスの向上を図るため、夜間閉館時及び休館時（ただし試験期間中は除く）における禁帯出図書の貸出を開始しました。

貸出対象となる資料は、参考図書、及び、特別文庫内の禁帯出図書等となっております。貸出期間は、貸出日当日の閉館1時間前から貸出日（または休館日）翌日の開館1時間後までです。なお、貸出冊数は、通常の貸出分に含まれます。

また、貸出方法ですが、カウンターにて、申込リスト（氏名・資料名等）に記入していただきます。

電子ジャーナルをOPACで検索！

電子ジャーナルの本格的な導入に伴い、図書館のホームページでは、電子ジャーナルのタイトル順リストと出版社（提供元）一覧の情報を提供していますが、OPAC（蔵書検索）でも検索可能なのはご存じでしょうか。

主要な電子ジャーナルは、OPACでタイトル・出版者・件名などから検索できるようになっています。また、検索結果から、電子ジャーナルの提供元のサイトに移動したり、対応する冊子の書誌・所蔵データに移動したりすることもできます。

1. 検索

まずは、タイトルで検索します。例では、“powder technology”を「雑誌」で検索。



2. 電子ジャーナルを選択する

次に、ヒットした書誌一覧から、電子ジャーナルを選択します。



拡大
1995)- Elsevier Science. w
末尾の w が電子ジャーナルであることを示す

3. 書誌データを表示

書誌データを表示すると、タイトル・出版者等の書誌詳細の情報とともに、所蔵状況（利用可能な巻号の範囲）が表示されます。例では、1998-2004年まで電子ジャーナルが利用でき、“+”は「継続中」であることを示しています。

No.	配置場所	所蔵巻号	備考
1.	電J-SD	(1998-2004)85-141+	ScienceDirect

書誌詳細

洋雑誌<Z>0000086
 書名・著者名等 Powder technology
 資料種別 電子ジャーナル等
 巻次・年月次 Vol. 82, Issue 1 (Jan. 1995)-
 出版者・出版年 [S.]: Elsevier Science
 注記 Access: via WWW
 注記 Title from title screen
 MCID AA11537486
 本文の言語 英語
 ISSN 0025910
 関連書誌リンク <http://www.sciencedirect.com/science/journal/0025910>
 著者リンク Elsevier Science Publishers (AU0000242)

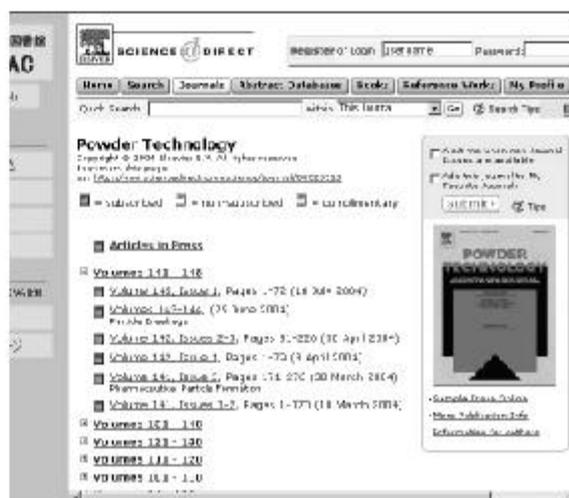
クリック

冊子体データの表示

「3」の書誌詳細の「関連書誌リンク」のリンク部分をクリックすると、対応する冊子の書誌詳細・所蔵情報を表示することもできます。

4. 電子ジャーナルのサイト

書誌詳細の「EJへのリンク」のURLをクリックすると、電子ジャーナルのサイトへ移動します。例では、ScienceDirectの“Powder Technology”のページに移動しています。ScienceDirectの場合、緑色の本のアイコンが利用できる巻号を示しています。



図書館HomePageがリニューアルしました

平成16年8月9日に図書館ホームページをリニューアルいたしました。今回のリニューアルは、「わかりやすいメニュー構成にすること」、「視認性の向上」、「統一的なデザインの実現」を目的に行いました。今年度のリニューアルは、「わかりやすいメニュー構成にすること」、「視認性の向上」、「統一的なデザインの実現」を目的に行いました。今年度のリニューアルは、「わかりやすいメニュー構成にすること」、「視認性の向上」、「統一的なデザインの実現」を目的に行いました。

このメニューバーにより、各ページに移動できます。

1. トップページ
「図書館からのお知らせ」、「開館カレンダー(3ヶ月分)」、「メニュー一覧」
2. 利用案内
「図書館利用上の注意」、「開館日時と貸出冊数」、「利用ガイド」
3. 資料検索
「本学蔵書検索」、「配架マップ」、「購入雑誌一覧」、「その他の資料」
4. 電子ジャーナル&データベース
「電子ジャーナル(利用上の注意・タイトルリスト・提供元別)」、「データベース(DBトライアル・分野別DB)」
5. オンラインリクエスト
「ILL(文献複写・資料借用)申込」、「図書購入リクエスト」、「利用情報照会」、「各申請書式ダウンロード」
6. コレクション
「土専文庫」、「婦人協会文庫」、「MIT博士論文集成」、「荒川文庫」、「泉文庫」、「その他の図書コーナー」
7. 紀要・広報
「室蘭工業大学紀要」、「みずもと(図書館報)」、「図書館概要」、「その他」

開館カレンダー3ヶ月分を表示

図書館資料検索(OPAC)や各種電子ジャーナル、データベースなどよく使われるリンクを配置しました

ユーザー必見の「図書館からのお知らせ」を配置しました

あらたに貴重図書の紹介をHPで始めました。次のページをご覧ください



貴重図書の紹介コーナー
 土専文庫
 婦人協会文庫
 MIT博士論文集成
 荒川文庫
 泉文庫
 その他のコーナー

新 着 図 書 紹 介



ダ・ヴィンチ・コード (上・下)

ダン・ブラウン 著、角川書店 2004/05

(配架場所：2F開架書架 933.7/B77)

「この小説における芸術作品、建築物、文書、秘密儀式に関する記述は、すべて事実に基づいている。」とは、タイトルページのすぐ後に書かれている言葉である。この小説を読み進んでいくうちに、本当に「事実」なんだろうかと疑念が生じてくる。ヨーロッパの精神の機軸とも言うべきキリスト教を縦糸にダヴィンチの作品を横糸として織り込んで、ヨーロッパ史の深部に読者を巻き込んでいってはなさない。

高校の世界史の授業が嫌だった工大生は、この本を読んで、世界史を学び直せ。

思考する機械コンピュータ

ダニエル ヒリス 著、草思社 2000/10

(配架場所：1F開架書架 007.6)

一見、人工知能の解説書かと思えるタイトルであるが、さにあらず。中身はコンピュータの原理から始まって、プログラム、アルゴリズム、並列コンピュータと続き、終わり近くによく「学習できるコンピュータ」が現れる。著者は学習がコンピュータを「思考するマシン」へと進化するための最も重要なファクターだと考えている。逆に言うと、学習しない人間は機械以下にもなり得ると言うことか？



やわらかな遺伝子

マット・リドレー 著、紀伊国屋書店 2004/04

(配架場所：1F開架書架 467.2)

従来、遺伝子は「設計図」であり、決定論の主体であるかのようなイメージを持たれてきた。又、一方では人間は環境によって決定されるという考えもある。

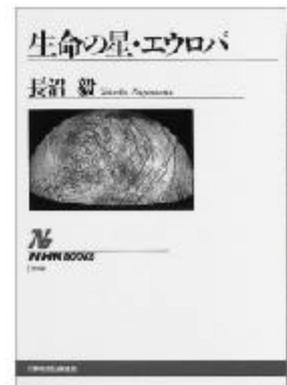
本書は最近のゲノム解析により、新にわかってきた遺伝子の働きから、新しい人間観を形成しようとしている。本書の随所にちりばめられているいろいろな逸話がおもしろい。

生命の星・エウロパ NHKブックス

長沼 毅 著、NHK出版 2004/03

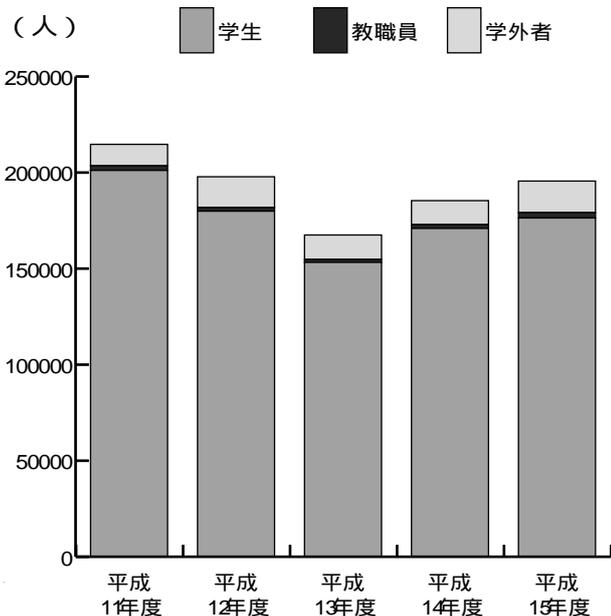
(配架場所：2F開架書架 NHKブックス)

アーサー・C. クラークが「2010年宇宙の旅」の中で、エウロパの海底に生命を誕生させたのは、20年以上も前の1982年である。彼は別の論文から、そのストーリーを思いついたようだが、エウロパに海があるということは、そのわずか10年ほど前からわかっていたという。著者はエウロパの海と地球の深海底の火山の環境がよく似ている点を指摘し、地球の深海底に生息しているチューブワームと同じような生命体の存在を想像する。遙かエウロパの海に浮遊する生命体を夢想することは、秋の夜長にはふさわしいかもしれない。

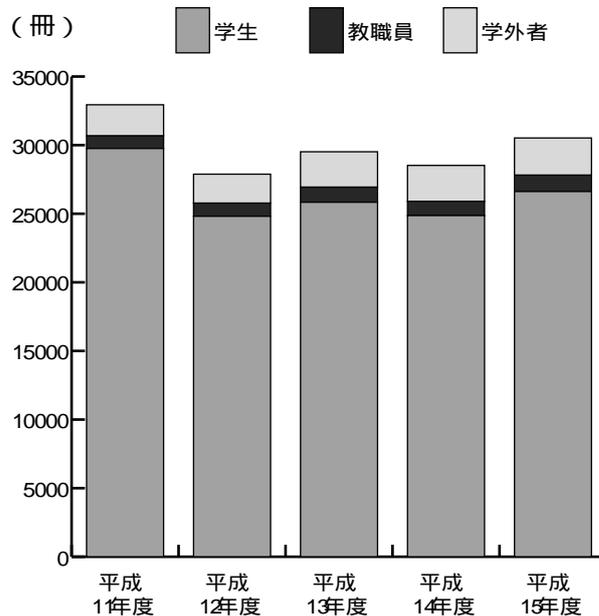


～ 図書館利用統計 ～

年度別入館者数



年度別貸出冊数

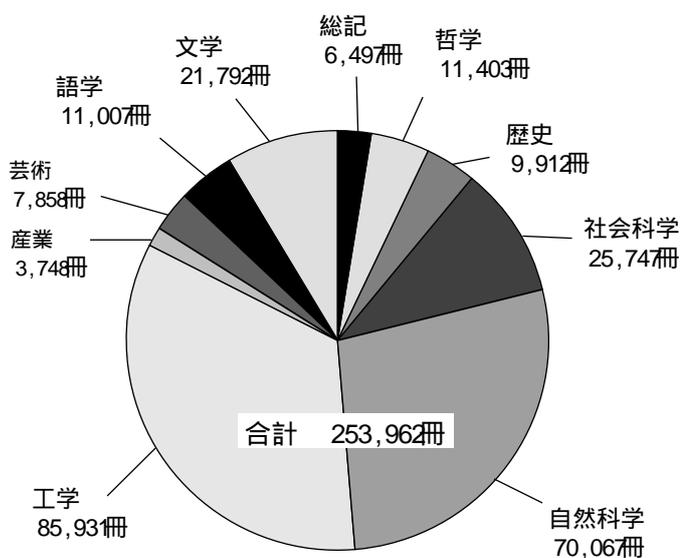


年度	学生	教職員	学外者	合計
平成11年度	201,132	2,396	11,168	214,696
平成12年度	179,911	1,861	16,039	197,811
平成13年度	153,260	1,518	12,734	167,502
平成14年度	170,931	1,966	12,488	185,385
平成15年度	176,357	2,789	16,428	195,574

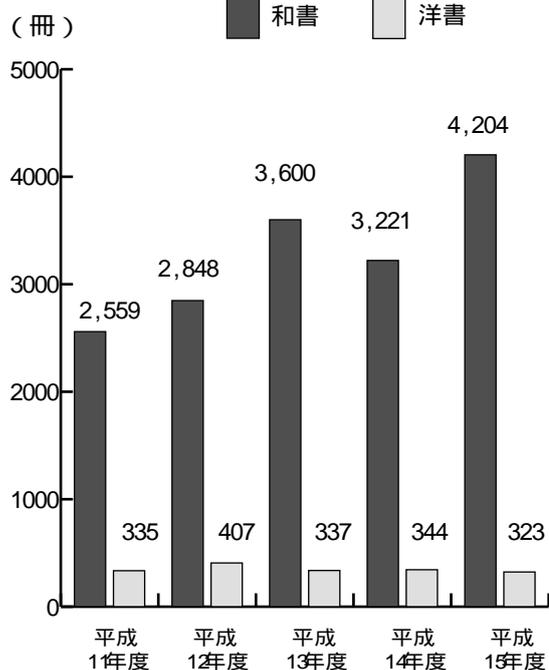
年度	学生	教職員	学外者	合計
平成11年度	29,755	915	2,271	32,941
平成12年度	24,814	956	2,113	27,883
平成13年度	25,836	1,098	2,581	29,515
平成14年度	24,866	1,033	2,622	28,521
平成15年度	26,620	1,189	2,711	30,520

～ 蔵書統計 ～

分野別蔵書統計 (平成16年3月3日現在)



年度別受入冊数



全蔵書数 297,751冊 (図書 253,962冊 製本雑誌 43,79冊)

平成 16年度後期 図書館開館カレンダー

開館 時間 区分	1 2 ... 9:00~21:00	1 2 ... 10:00~16:30	1 2 ... 休館日
	1 2 ... 9:00~17:00	1 2 ... 9:00~16:30	

2004年 10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2005年 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

編集発行 室蘭工業大学附属図書館

〒050- 8585 北海道室蘭市水元町 2番 1号

Tel 0143-46-5187 FAX 0143-46-5196

図書館のホームページ <http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>